



発行
 公益社団法人福島県防犯協会連合会
 福島市舟場町2番1号
 福島県庁舟場町分館3F
 ☎024-573-0699
 FAX 024-573-2833
<https://www.bouhanfukushima.com>
 印刷 (株)民報印刷

令和7年中の被害状況

●なりすまし詐欺

204件、13億4,942万円 (+84件、+9億4,578万円)

	令和7年中		令和6年中		比較増減	
	件数	被害金額(万円)	件数	被害金額(万円)	件数	被害金額(万円)
なりすまし詐欺	204	134,942	120	40,364	+84	+94,578
詐欺	192	132,701	112	39,848	+80	+92,853
オレオレ詐欺	110	108,139	30	30,099	+80	+78,040
預貯金詐欺	6	352	12	1,131	-6	-779
架空料金請求詐欺	56	13,410	57	5,930	-1	+7,480
融資保証金詐欺	5	635	4	206	+1	+429
還付金詐欺	11	2,808	5	681	+6	+2,127
金融商品詐欺	1	6,950	0	0	+1	+6,950
ギャンブル詐欺	0	0	1	65	-1	-65
交際あっせん詐欺	2	377	2	1,416	±0	-1,039
その他	1	30	1	320	±0	-290
キャッシュカード詐欺盗	12	2,241	8	516	-4	+1,725



【特徴】

- オレオレ詐欺、架空料金請求詐欺で被害全体の約8割(81.4%)を占める
- オレオレ詐欺被害の件数、金額が大きく増加
- 警察官をかたるニセ警察詐欺被害が激増
オレオレ詐欺被害110件中104件(94.5%)がニセ警察詐欺の手法による被害



●SNS型投資・ロマンス詐欺

140件、21億91万円 (+30件、+9億2,140万円)

	令和7年中		令和6年中		比較増減	
	件数	被害金額(万円)	件数	被害金額(万円)	件数	被害金額(万円)
SNS型投資・ロマンス詐欺	140	210,091	110	117,951	+30	+92,140
投資詐欺	71	132,306	49	40,466	+22	+91,840
ロマンス(投資)	58	68,685	49	72,972	+9	-4,287
ロマンス(その他)	11	9,100	12	4,513	-1	+4,587



【特徴】

- 接触種別(投資勧誘、出会い)を問わず、最終的に投資等の資産運用に誘導される被害が全体の9割以上(92.1%)を占める
- なりすまし詐欺と比較して1件あたりの平均被害額が多額になる傾向が強い
SNS型投資・ロマンス詐欺被害:約1,500万円
なりすまし詐欺被害:約661万円



被害防止対策の徹底を!

- 国際電話番号が詐欺に悪用されています。国際電話番号を利用しない方は、固定電話は「[国際電話番号の利用休止申請](#)」、スマートフォンは「[警察庁推奨アプリ](#)」の活用をお願いします!

- 注意点等をまとめた「[警察版・親父の小言](#)」を県警ホームページに掲載しています。印刷可能なので、トイレに掲示するなどして活用し、日頃から防犯意識を高めてください!

令和7年全国防犯功労者・防犯功労団体表彰

【令和7年9月25日(木) 東京：明治記念館】

令和7年の全国防犯功労者・功労団体には、福島県から次の方々を受賞されました。
 長年のご尽力に敬意と感謝を申し上げます。



防犯功労者 (敬称略)

<防犯榮譽金章>

- 菅野 豊 (郡山北地区防犯協会連合会)

<防犯榮譽銀章>

- 木下 昭夫 (福島地区防犯指導隊)
- 千葉 正秀 (会津美里地区防犯連絡所協議会)

<防犯榮譽銅章>

- 瀬谷 一雄 (いわき南地区防犯協会連合会)
- 小野 民子 (いわき東地区防犯協会連合会小名浜支部)
- 志賀 政行 (相馬地区防犯指導隊中部分隊)
- 根本 安知 (富岡地区防犯指導隊広野分隊)
- 渡邊 義和 (福島北地区防犯指導隊北信分隊)
- 佐藤 榮朗 (会津若松地区防犯指導隊)

防犯功労団体 (敬称略)

- 本郷こまわり隊 (会津美里 代表：西田 健)

地域安全標語

通学路 地域ぐるみで パトロール

地区防犯協会・ボランティア団体の活動紹介

大島地区防犯協会（郡山市）



大島地区防犯協会では、大島地区防犯指導隊や開成山交番と共に、青色回転灯を装備した防犯パトロール車で各所を巡回しています。地域住民の防犯意識の高揚と犯罪被害防止に尽力しています。また、管内にある大島小学校周辺において、下校時の見守り活動を実施しており、地域ぐるみで子供たちを守る体制を整えています。

浪江地区防犯指導隊（浪江町）



平成6年に発足した浪江地区防犯指導隊は、鈴木隊長以下、熱意ある隊員らが「自分達の町は自分で守る」とのスローガンのもと、精力的な活動を実施しています。年金支給日における詐欺被害防止広報、祭場における防犯警戒等に加え、令和7年には、保健所との合同による薬物乱用防止キャンペーンを実施するなど、幅広く顔の見える活動を展開しています。

《補導員の手記》

親がすべきこと

小学生のうちから自分専用のスマートフォンを持ち始める子どもが増えた現在、インターネット利用をきっかけにして起こるトラブルが大変目立っています。

そして、トラブルに関わった子どもの保護者から話を聴くと、「スマートフォンを使って何をしているのかは、子どものプライバシーがあるのでよく分かりません。」と堂々と主張する方も珍しくありません。

もちろん、子どものプライバシーを軽視することはできませんが、十分な判断力が育まれていない中で重視しすぎると、保護者の知らないところでトラブルを起こすきっかけとなります。

以前、ある男子中学生が、女性の胸などを触ったわいせつ事案が発生しました。

私が、男子中学生の母親から日頃の様子などについて聴いたところ、「息子は、見ていた限り変わった様子はなく、部屋の中を見てもエロ本などを隠し持っていたりすることはありませんでした。しかし、今回の件を受けて改めて息子のスマートフォンの中を確認したら、検索履歴が性的な内容ばかりだったのです。息子がこんなに性に関心があるとは知りま

福島県警察本部

人身安全・少年課

会津少年サポートセンター

主任少年警察補導員

花見 好美



せんでした。」と語り、今まで知ることのなかった息子の性的関心の高さに驚きを隠せない様子でした。

さらに話をしていく中で、母親は、「スマートフォンを息子に持たせたきりにせず、何に使っているのかをもっと確認していれば、このようなことにはならなかったかもしれません。」と後悔の言葉を述べていました。

スマートフォンは、とても便利な機能が多く、今となっては大人も子どももなくてはならないものになりつつあります。

一方で、スマートフォンの使い方を誤ると、関心の赴くまま、偏った知識や必要以上の情報を与えてしまいます。

好奇心の塊である小・中学生は特に影響を受けやすく、大人が予想もできないようなトラブルにつながるケースも多々見られます。

子どものプライバシーも大切ですが、何よりも、子どもたちが安全にインターネットを楽しめるよう、「スマホで何してんの?」、「誰とつながってるの?」と一歩踏み込んだ関わりをして、子どもを成長させていくことが親の務めだと思います。

地域安全作文コンクール審査結果

「令和7年地域安全作文コンクール」の審査が行われ、次のとおり入選作品が決定しました。

入選者には、警察署を通じて福島県防犯協会連合会会長表彰が授与されました。

応募数は、小学生・中学生合わせて456点で、最優秀作品については、福島県防犯協会連合会のホームページにも掲載していますので、是非ご覧下さい。

小学生の部 入選者

最優秀 大切な人を守るために

優秀 わたしにできること

佳作 おじいちゃんをお手本に

曾根 奈歩 (石川町立石川小学校6年)

松川 紗菜 (喜多方市立豊川小学校3年)

小山 楓果 (会津若松市立門田小学校5年)

中学生の部 入選者

最優秀 大切な自転車を守るために

優秀 SNSに縛られていたのは自分だった

佳作 気づいて、SNSに潜む落とし穴

村田 彩寧 (白河市立白河第二中学校3年)

高橋 湊都 (二本松市立二本松第三中学校2年)

澤口 紗埜 (白河市立白河第二中学校3年)

最優秀作品 (小学生の部)

大切な人を守るために

石川町立石川小学校6年 曾根 奈歩

最近、ニュースではさまざまな犯罪が報道されています。

犯罪にはたくさんの種類があり、事件の数は年々増えているそうです。そこで、身近に起きやすい犯罪をどうやったら防げるのか、考えることにしました。

一つ目は、子どもへの声かけや連れ去りの犯罪です。

子どもが喜ぶおかしな話題で気を引いて連れ去ろうとするやり方は、だまされやすいし本当に怖いと思います。

これらを防ぐには、まず、知らない人にはついて行かない。そして学校からの帰りなど、なるべく人通りの多い道を選ぶことが大切です。もし知らない人に声をかけられたら、近くの家やお店に行って大人に助けを求める、相手が車なら進行方向とは反対に逃げるなど、万が一の時の対処法を知っておくことも大事だと思います。

何かあったら直ぐにかけこめるよう、110番の家の場所を確認しておくことも必要です。

できるだけ一人きりにならず、大人の目の届かない場所には行かないよう、わたしもふだんから気を付けたいと思います。

もう一つは、なりすましさぎです。

なりすましさぎは、主に高れい者を狙った犯罪で、家族や警察官のふりをして電話をかけてきて、高額なお金をだまし取るものです。

うそをついて家族を思う気持ちを悪用したり、犯罪にまきこまれていとおどしたりする、とてもずるくてひきょうな犯罪だと思います。

わたしの家族にも80歳になるばあばがいます。

ばあばは、スマートフォンの使い方も上手ではないし、高れい者なので記憶があいまいになってしまう時もあります。そんなばあばが、なりすましさぎにだまされてしまったとしたら、私は本当に悲しいです。ばあばがさぎにあわないために、私は「あやしい電話はすぐに切った方がいいよ!」と話したり、紙に書いて家の目立つところにはったりして、できるだけ注意してあげたいと思っています。

なりすましさぎを防ぐには、まずは知らない番号の電話には出ない。そしてよく分からない不自然なメールなどには反応せず、すぐに消去することが大事です。もし、知らない番号の電話が何回もかかってくるようなら、警察や信頼のできる人に相談するのがいいと思います。また、かかってきた電話番号をインターネットで調べるなどして、危ない電話かどうかを確認するという方法もあります。

よく分からない内容の電話には一人では対応せずに、何か不安に感じたら、まずは家族に相談することが大切だと思います。

犯罪にはいろいろ手口があって、どんどん進化しているとも聞きます。

私が暮らしている石川町から、犯罪によって悲しい思いをするひ害者は出てほしくありません。そのためには、一人一人が自分自身で気を付けるだけでなく、弱い立場の人の周りの皆が犯罪に対して意識をもって守ってあげることも必要だと思います。

まずは自分ができることから、身近なところから対策する。

それを徹底して町から犯罪をなくし、安全な町にしたいです。

最優秀作品 (中学生の部)

大切な自転車を守るために

白河市立白河第二中学校3年 村田 彩寧

大切な自転車。

祖父母が私のためにと通学用の自転車を買ってくれた二年前の三月。私は買ってもらったその日から、早く自転車に乗りたくて仕方ありませんでした。これから三年間、もしくはそれ以上の時間をこの自転車と共に学校や塾に行くことになると思うと、大切にしなければならぬという強い気持ちが芽生えました。

私には兄が二人いて、兄たちも自転車を利用して登校していました。そんな兄たちの姿を見ていた私は、自転車で登校することへの憧れをもっていました。

私がまだ小学生で、自転車を買ってもらった前のある日、六歳年上の兄が自転車を利用して友達と遊びに行きました。夕方、帰ってきた兄が少し悲しそうな顔をしていて、その日の出来事を話してくれました。事情を聞いたところ、友達の自転車が盗まれてしまったというのです。近くを探してみると少し離れた所にある田んぼに乗り捨てられた自転車があり、その自転車は間違いなく友達のものでした。二人はひどくショックを受けていました。その話を聞いた私は、そんなひどいことをする人がいるのだと悲しい気持ちになりました。一方で、怒りの感情がふつふつとこみ上げてきました。

私が中学生になって自転車通学をするようになってから、以前聞いた話のおかげで自転車の鍵を取り忘れることはほとんどあり

ません。また、少しの間なら大丈夫と油断してしまうこともあります。

しかし、自転車の盗難被害は中々なくなりません。最近、通学路で乗り捨てられた自転車を見かけました。自転車を盗まれた人は自転車の鍵を取り忘れたのだと思います。その自転車が、私のように家族に買ってもらったり、毎日働いて自分のお給料で買ったものなら、大きなショックを受けたでしょう。

自転車の盗難被害防止のいちばん良い方法としては、鍵を取ること習慣にすることだと思います。鍵を取ることが習慣になってしまえば、取り忘れることはありません。また各学校、各施設の駐輪場に鍵の取り忘れを防止するポスターを掲示することも効果的だと思います。そのようにすれば、鍵の取り忘れによる自転車の盗難被害が減ると思うのです。

自転車の盗難被害防止には、一人ひとりの意識が深く関わっています。少しの間だけなら大丈夫やまさか自分の自転車が盗まれるはずないと油断してしまうのがとても危険です。大切な自転車を失うことのないよう、ほんの少しの意識が重要だと思います。

自転車の盗難被害をなくすことは、よりよいまちづくりにつながるかと私は考えます。この意識は小さな一歩かもしれませんが、大切な一歩なのではないでしょうか。

地域安全活動支援の企業・団体

公益社団法人福島県防犯協会連合会は、「犯罪のない安全で安心できる福島県」を実現するため、県警察、県・市町村、関係機関団体、各地区防犯協会等との連携の下、様々な地域安全活動を展開しておりますが、賛助会員として、次の企業・団体の方々に多大なご支援・ご協力をいただいております。(当協会のホームページにも掲載しています)
今後とも、変わらぬご協力を賜りますようお願い申し上げます。(令和8年1月末現在)

Table listing member companies and organizations, categorized by region (North, Central, East, West, Double) and city/ward. Includes names like 一般社団法人福島県警備業協会 and 株式会社アサヒ.

*個人会員及び匿名を希望された団体・企業の方は、掲載しておりませんので、ご了承ください。

なりすまし詐欺の被害を防止するため、
「防犯対策電話録音機」
の普及を図っています。
県防連では、県民の方の要望を踏まえ、
貸出台数を増やしました。

→ 貸出しに関するお問い合わせは、
県防連事務局 (024-573-0699)、
又は、各地区防犯協会(各警察署内)
まで連絡願います。お待ちしております。

福島県内では、依然として「なりすまし詐欺」の被害が多発しています。
公益社団法人福島県防犯協会連合会では、なりすまし詐欺の被害防止に一定の効果が認められる「防犯対策電話録音機」の貸出し事業を実施しております。
本事業は、令和3年から行っていますが、更に台数を増やし、一人暮らしの高齢者の方、高齢者だけの世帯など、被害に遭いやすい方に無償でお貸ししています。是非、お試し下さい。

